

[古 関 裕 而] こせき ゆうじ	
1909(明治 42)年 8 月 11 日生 福島県出身	
1989(平成元)年 8 月 18 日没 (80 歳)	
福島商業	
年 次	履 歴 ・ 球 歴
1930(昭和 5)年	日本蓄音器商会(現 日本コロムビア)に作曲家として入社。
1931(昭和 6)年	「日米野球行進曲」を作曲。
1934(昭和 9)年	「都市対抗野球行進曲」を作曲。
1936(昭和 11)年	「大阪タイガースの歌」(通称:六甲おろし)を作曲。
1939(昭和 14)年	「野球の王者」を作曲。
1948(昭和 23)年	全国高等学校野球選手権大会の大会歌「栄冠は君に輝く」を作曲。
1950(昭和 25)年	「ドラゴンズの歌」を作曲。
1963(昭和 38)年	「巨人軍の歌～闘魂こめて～」を作曲。
	<p>1930 年、日本蓄音器商会に作曲家として入社。作曲作品の総数は 5,000 曲にもおよぶといわれる。</p> <p>1931 年に早稲田大学の応援歌「紺碧の空」、「日米野球行進曲」を作曲し、スポーツに関する曲を作り始める。36 年には「大阪タイガースの歌」(通称:六甲おろし)を作曲した。</p> <p>1948 年、学制改革を記念して制作された全国高等学校野球選手権大会歌「栄冠は君に輝く」の作曲を担当。この曲は同年の第 30 回大会から現在まで開会式で歌われ、大会の象徴となっている。</p> <p>その他にも、慶應義塾大学応援歌「我ぞ覇者」、「巨人軍の歌～闘魂こめて～」など、応援で歌われる曲も数多く作曲し、音楽を通して日本の野球を盛り上げてきた。その楽曲は、高校野球・大学野球・プロ野球等で、現在も広く歌い継がれている。</p>

【参考文献】

- ・古関裕而『鐘よ鳴り響け 古関裕而自伝』 2019 集英社文庫
- ・刑部芳則『古関裕而 流行作曲家と激動の昭和』 2020 中公新書
- ・福島市、福島市教育委員会『鐘よ鳴り響け 古関裕而記念館 3版』 2009 福島市、福島市教育委員会
- ・朝日新聞社『全国高等学校選手権大会 70年史』 1989 朝日新聞社
- ・東京読売巨人軍 50年史編集委員会『東京読売巨人軍 50年史』 1985 東京読売巨人軍
- ・阪神タイガース『阪神タイガース 昭和のあゆみ』 1991 阪神タイガース
- ・「サンデー毎日」臨時増刊 第9回全国都市対抗野球大会 1935
- ・紺碧の空と早大野球部の足跡をたどる
<https://www.waseda.jp/culture/news/2020/08/13/10746/> (2023年1月10日閲覧)
- ・早稲田大学応援部創部 80周年記念事業実行委員会『早稲田大学応援部史』 2021 早稲田大学応援部稲門会
- ・報知新聞 1989年8月20日付